

まつしん

MatsuShin
Business
Report

No. 153

景況 レポート

CONTENTS

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

業種別の業況

⑦ ⑧

経済指標

⑨ ⑩

特別調査

「2024年（令和6年）の経営見通し」



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

調査要綱

1. 調査時期 2023年12月
2. 調査対象期間 2023年10～12月期（実績）
2024年1～3月期（予想）
3. 調査方法 当金庫職員による聴き取りおよび留め置き調査
4. 調査対象 当金庫取引先事業所
5. 調査対象企業数・有効回答数等の内容

区 分	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製 造 業	59	58	98.3%
小 売・卸 売 業	61	60	98.4%
サ ー ビ ス 業	47	47	100.0%
建 設 業	49	49	100.0%
合 計（総 合）	216	214	99.1%

6. 分析の方法

この調査は、各質問項目に企業の総回答数に対する「良い（増加等）」および「やや良い（やや増加等）」と回答した企業の割合と、「やや悪い（やや減少等）」および「悪い（減少等）」と回答した企業の割合との差D Iを中心に分析を行っています。

※ D I（業況判断）＝「良い・やや良い」－「悪い・やや悪い」企業数構成比（％）

傾向値＝（4期前～前期までの合計＋3期前～今期までの合計）÷8

傾向値は4期間2段階の移動平均法で算出した数値です。

概 況(総合)

区 分	2023年 7月～9月	2023年 10月～12月	2024年 1月～3月予想	概 要(総合)
総 合				<p>2023年10～12月期（今期）の業況判断D Iは▲22.0となり、前回調査に引き続き前期比7.7ポイント良化と改善傾向継続にあります。</p> <p>主要指標D Iは、売上額がマイナス域を脱して7.5（前期比22.1ポイント良化）、収益が▲7.5（同19.4ポイント良化）、資金繰りは▲16.4（同0.1ポイント良化）となり、20%内外が良化した大幅な増収増益にあります。設備投資実施企業割合は30.4%となり、前期比7.8ポイント増加しました。</p> <p>業種別の業況判断D Iは、製造業が▲31.0（前期比2.2ポイント悪化）、小売・卸売業が▲28.3（同8.5ポイント良化）、サービス業が▲6.4（同30.4ポイント良化）、建設業が▲18.4（同8.1ポイント良化）となり、今期は4業種中、製造業を除いた3業種の業況が良化しています。</p> <p>しかしながら、来期の予想業況判断D Iは、15.4ポイント悪化の▲37.4と大幅な悪化が予想されています。また、業種別の予想業況判断D Iにおいては、製造業が▲31.0（対今期実績変動なし）、小売・卸売業が▲56.7（同28.4ポイント悪化）、サービス業が▲27.7（同21.3ポイント悪化）、建設業が▲30.6（同、12.2ポイント悪化）となっており、低迷が続く製造業は改善を予想しておらず、残りの3業種は2桁台の大幅な業況悪化を予想しており、今期の業況の反動が懸念されています。</p>
製 造 業				
小 売・卸 売 業				
サ ー ビ ス 業				
建 設 業				

（このお天気マークは、景気指標を総合判断したものです。）

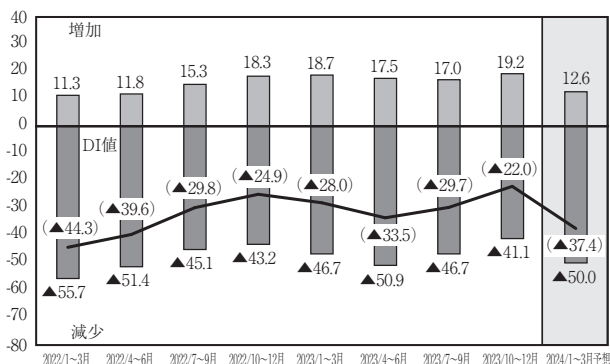
指数 31以上 30.9～21 20.9～10 9.9～-9.9 -10～-20.9 -21～-30.9 -31以下

好調 ← → 低調

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
業況判断	▲ 44.3	▲ 39.6	▲ 29.8	▲ 24.9	▲ 28.0	▲ 33.5	▲ 29.7	(▲28.8) ▲ 22.0	▲ 37.4

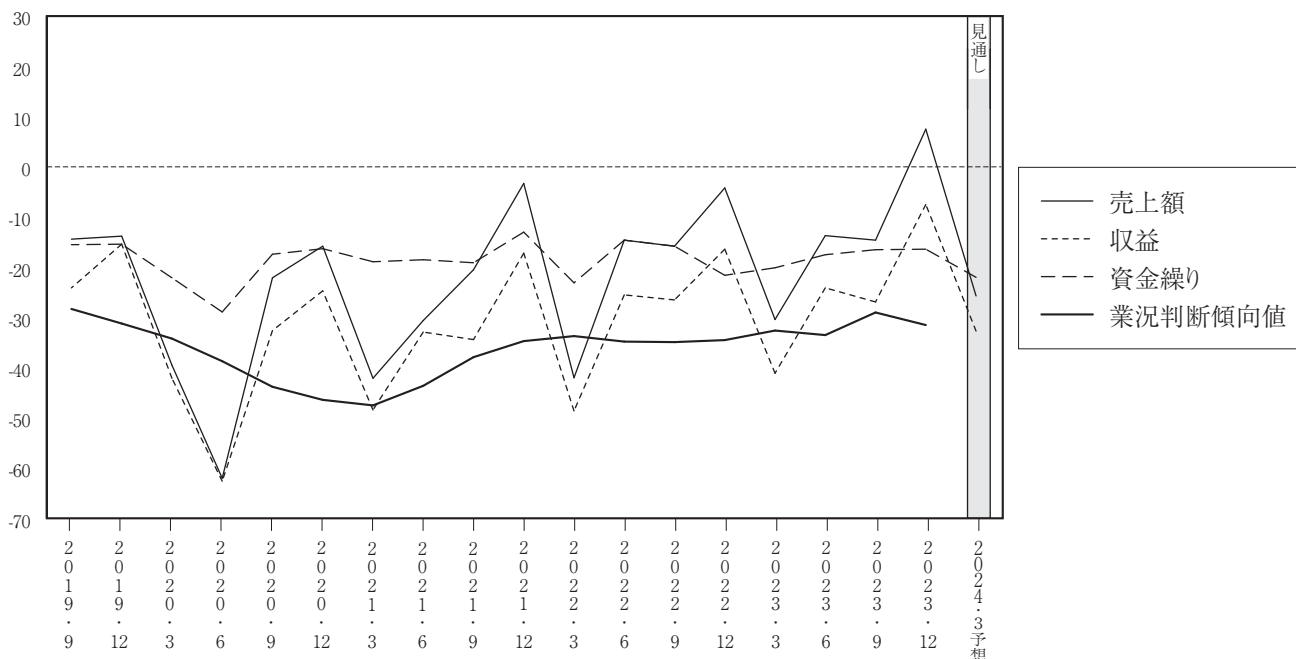
●業況判断



●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)
〔前期と比べて〕

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
売上額	▲ 4.2	▲ 30.4	▲ 13.7	▲ 14.6	(▲ 12.3) 7.5	▲ 25.7
収益	▲ 16.4	▲ 41.1	▲ 24.1	▲ 26.9	(▲ 20.8) ▲ 7.5	▲ 32.7
資金繰り	▲ 21.6	▲ 20.1	▲ 17.5	▲ 16.5	(▲ 18.4) ▲ 16.4	▲ 22.0
業況判断 傾向値	▲ 34.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 29.0	▲ 31.5	

●指標の推移状況(DI値)



●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	売上の停滞・減少 47.6	売上の停滞・減少 48.1
2	人手不足 28.8	人手不足 29.9
3	利幅の縮小 27.8	利幅の縮小 29.9
4	材料価格上昇 26.4	材料価格上昇 26.2
5	人件費の増加 15.1	人件費の増加 17.8

・企業数割合(上位5項目)

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	経費の節減 57.1	経費の節減 52.3
2	人材の確保 29.2	人材の確保 32.7
3	販路の拡大 25.9	販路の拡大 25.7
4	技術力の強化 15.6	技術力の強化 16.4
5	情報力の強化 10.8	情報力の強化 10.7

・企業数割合(上位5項目)

製造業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~4月予想
業況判断	▲25.4	▲25.4	▲40.7	▲28.8	(▲28.8)	▲31.0

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~4月予想
設備の水準	▲22.0	▲11.9	▲18.6	▲15.3	(▲18.6)	▲13.8
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	24.1%			20.7%		

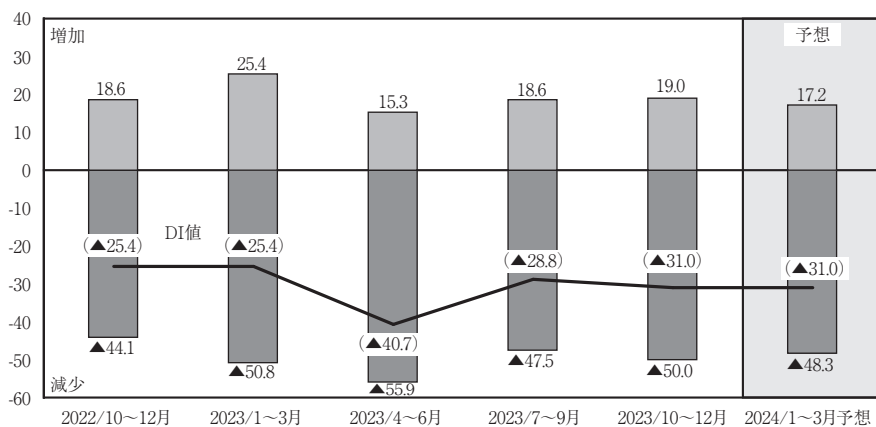
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

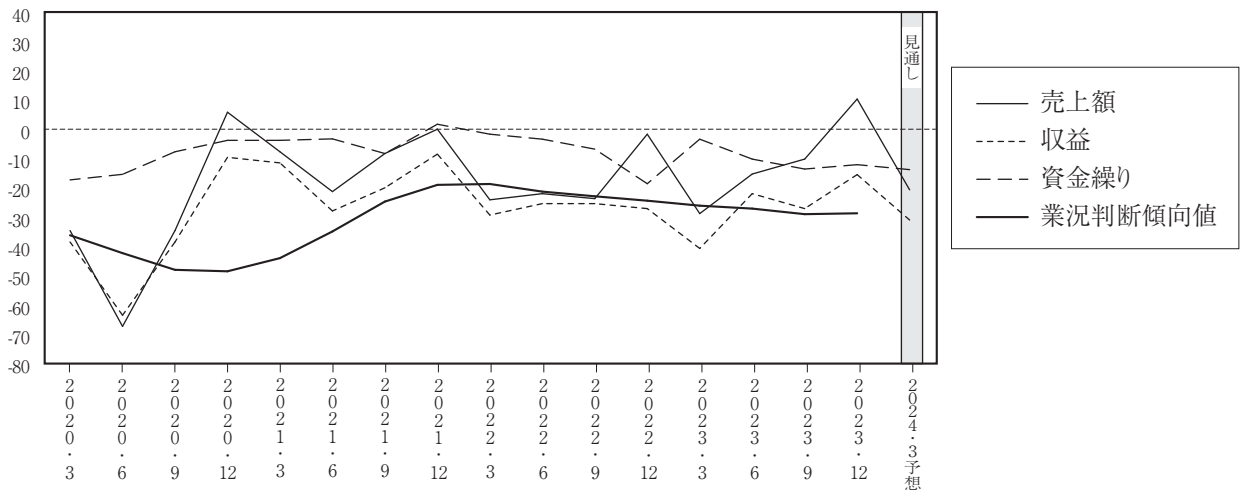
カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
売上額	▲1.7	▲28.8	▲15.3	▲10.2	(▲8.5)	▲20.7
収益	▲27.1	▲40.7	▲22.0	▲27.1	(▲15.3)	▲31.0
資金繰り	▲18.6	▲3.4	▲10.2	▲13.6	(▲10.2)	▲13.8

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲31.0となり、前回より2.2ポイント悪化しております。

主要指標DIは、売上額は10.3(前期比20.5ポイント良化)、収益▲15.5(同11.6ポイント良化)、資金繰りも▲12.1(同1.5ポイント良化)となっており業況判断が若干悪化しておるのに反して実際は大幅な増収増益を計上した企業が多い結果となっております。

来期の業況予想DIは、今期と比較して売上額は▲31.0ポイントと変動がない予想にありますが、売上は▲20.7(今期比較31.0悪化)収益が▲31.0(15.5ポイント悪化)、資金繰りが▲13.8(1.7ポイント悪化)と大幅な減収減益に転じる予想にあり、厳しい状況は続くものと思われます。また、当面の重点経営施策において「人材の確保」が前回以降多くの企業で課題として上がってきており、労働力不足問題が一層顕在化しております。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	売上げの停滞・減少 52.5	売上げの停滞・減少 48.3
2	原材料価格高騰 40.7	原材料価格高騰 34.5
3	利幅の縮小 28.8	利幅の縮小 31.0

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	経費の削減 55.9	経費の削減 60.3
2	販路の拡大 50.8	販路の拡大 48.3
3	人材確保 28.8	人材確保 31.0

小売・卸売業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
業況判断	▲40.4	▲47.4	▲38.6	▲36.8	(▲42.1)	▲56.7

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
設備の水準	▲19.3	8.8	▲17.5	▲22.8	(▲24.6)	▲20.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	28.3%			21.7%		

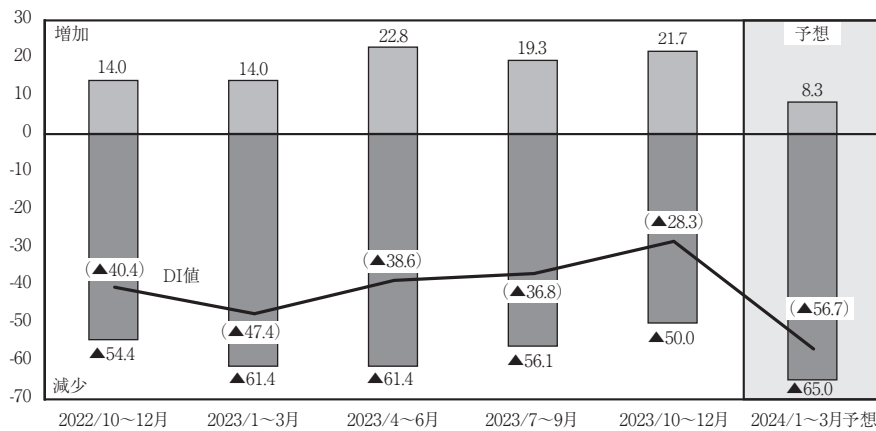
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

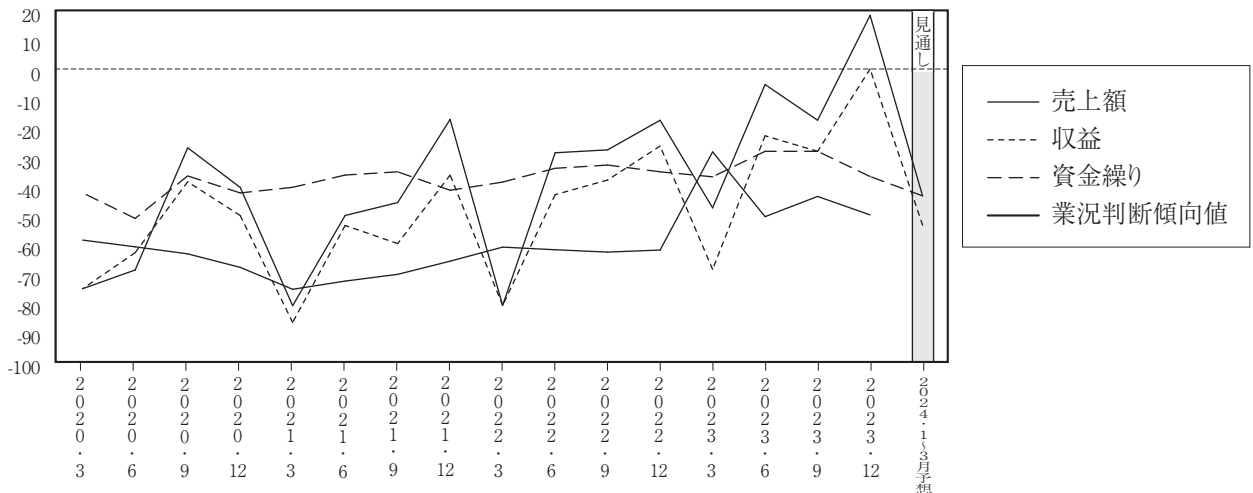
カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
売上額	▲17.5	▲47.4	▲5.3	▲17.5	(▲12.3)	▲43.3
収益	▲26.3	▲68.4	▲22.8	▲28.1	(▲19.3)	▲53.3
資金繰り	▲35.1	▲36.8	▲28.1	▲28.1	(▲35.1)	▲43.3

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲28.3とマイナス域ながら前期比8.5ポイントの良化となっています。主要指標DIは、売上額が18.3（前期比35.8ポイント良化）とマイナス域からプラスに転じる大幅な良化となっています。収益が0.0（同28.1ポイント良化）とこちらもマイナス域を脱しています。しかしながら、資金繰りは▲36.7（前期比8.6ポイント悪化）となり、主要指数においては資金繰り以外は大幅に改善した結果となっています。また、今期設備投資をした企業は28.3%（前期比17.8ポイント良化）となり、設備投資を実施した企業が多かった結果となっています。しかしながら、来期の予想DIは、売上額が61.6ポイント悪化の▲43.3、収益が53.3ポイント悪化の▲53.3、資金繰りが6.6ポイント悪化の▲43.3となり、再び大幅なマイナスに転じる予想となっております。業況判断DIも28.4ポイント悪化の▲56.7となっており、依然として厳しい状況が続く予想がされています。また、当面の経営上の問題点も「売上の停滞・減少」と「人手不足」といった相反する項目が上位に挙げられており、取引先ごとの経営状態の格差が顕著になっておると推測されます。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	売上の停滞・減少 47.4	売上の停滞・減少 70.0
2	仕入先からの値上げ要請 38.6	利幅の縮小 35.0
3	利幅の縮小 29.8	人手不足 28.3

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	経費節減 61.4	経費節減 55.0
2	品揃え改善 24.6	品揃え改善 31.7
3	売れ筋商品を取り扱う 22.8	売れ筋商品を取り扱う 25.0

サービス業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
業況判断	▲14.9	▲16.7	▲19.6	▲25.5	(▲14.9) ▲6.4	▲27.7

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
設備の水準	▲25.5	▲18.8	▲23.9	▲21.3	(▲23.4) ▲12.8	▲12.8
設備投資した企業割合	38.3%			設備投資予定のある企業割合 34.0%		

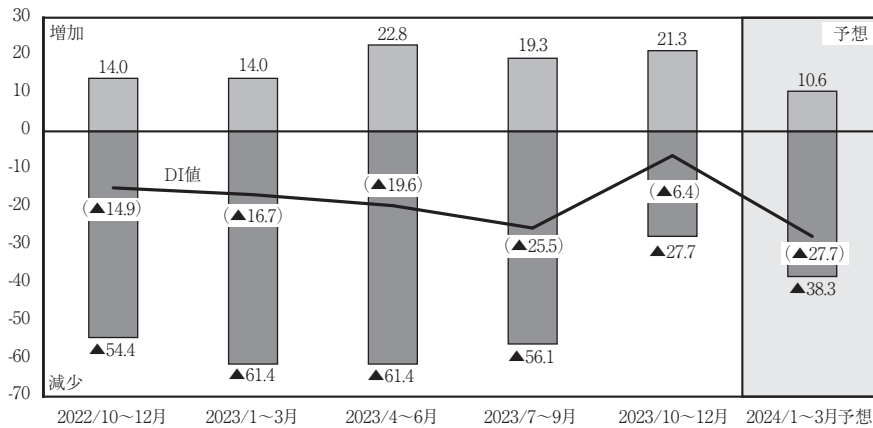
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

(前期と比べて)

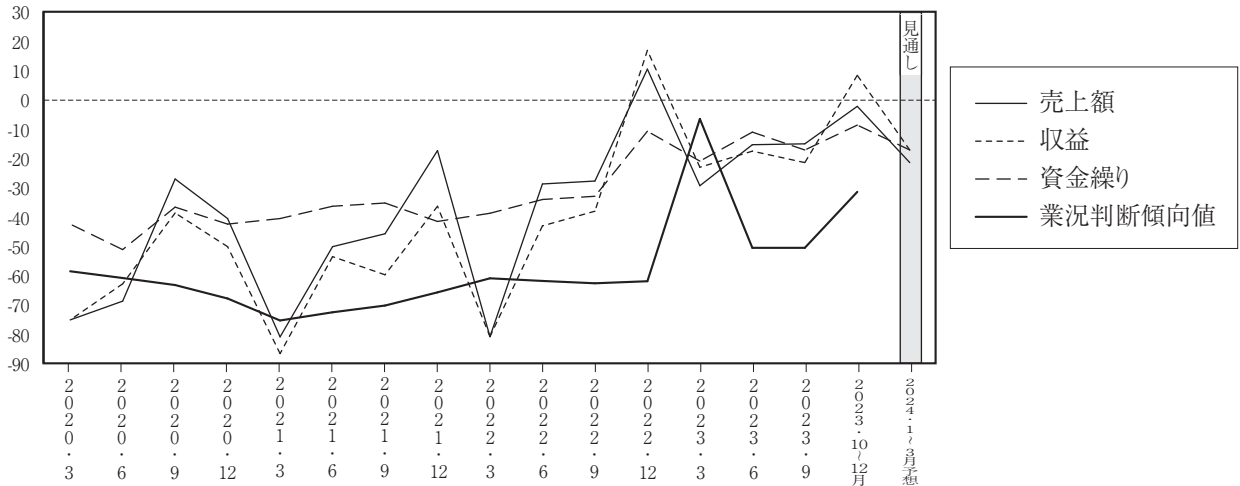
カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
売上額	10.6	▲29.2	▲15.2	▲14.9	(▲0.0) ▲2.1	▲21.3
収益	17.0	▲22.9	▲17.4	▲21.3	(▲10.6) 8.5	▲17.0
資金繰り	▲10.6	▲20.8	▲10.9	▲17.0	(▲19.1) ▲8.5	▲17.0

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲6.4となりマイナス域ながら前期比19.1ポイント良化しています。主要指標DIは、売上額が▲2.1（前期比12.8ポイント良化）、収益が8.5（同29.8ポイント良化）とマイナス域からプラスに転じています。資金繰りが▲8.5（同8.5ポイント良化）となり、前回に引続き増収増益の結果となっております。また、今期設備投資をした企業は38.3%となり、前期比11.1ポイント良化となっております。来期の予想DIは、売上額が▲21.3ポイントと19.2ポイント悪化の見込み、収益は▲17.0と25.5ポイント悪化の予想、資金繰りも8.5ポイント悪化の▲17.0となり、今期の増収増益から再び減収減益に転じる厳しい状況が予想されています。また、業況判断予想DIも21.3ポイント悪化の▲27.7ポイントとなっております、こちらも厳しい状況は継続するものと予想されています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	材料価格の上昇 46.8	材料価格の上昇 53.2
2	売上の停滞・減少 44.7	人手不足 36.2
3	人手不足 42.6	売上の停滞・減少 31.9

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	経費節減 61.7	経費節減 51.1
2	人材の確保 44.7	人材の確保 44.7
3	販路の拡大 23.4	技術力の強化 29.8

建設業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
業況判断	▲16.0	▲20.0	▲32.0	▲26.5	(▲18.4)	▲30.6

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
設備の水準	▲14.0	▲2.0	▲2.0	4.1	(▲2.0)	0.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	32.7%			32.7%		

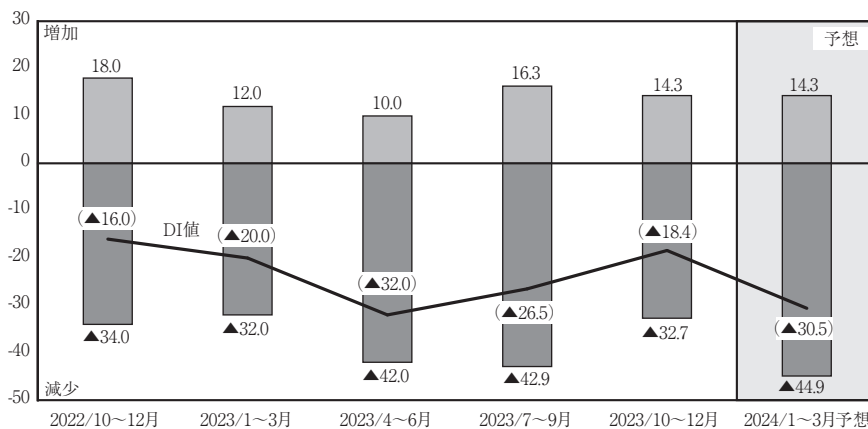
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

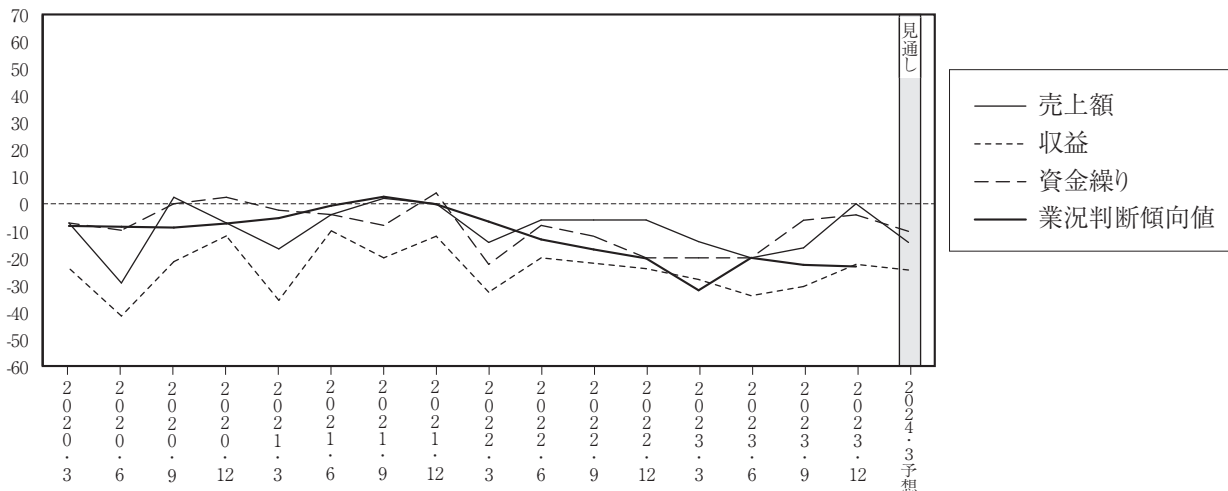
カッコ内は前回調査時予想

	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月予想
売上額	▲6.0	▲14.0	▲20.0	▲16.3	(▲28.6)	▲14.3
収益	▲24.0	▲28.0	▲34.0	▲30.6	(▲38.8)	▲24.5
資金繰り	▲20.0	▲20.0	▲20.0	▲6.1	(▲8.2)	▲10.2

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲18.4となり前期比8.1ポイント良化しました。

主要指標DIは、売上額が▲0.0(前期比16.3ポイント良化)、収益が▲22.4(前期比8.2ポイント良化)、資金繰りが▲4.1(同2.0ポイント良化)となり、いずれも前回に引続き良化傾向と判断されます。また、設備状況DIが▲0.0ポイントと設備水準は適正とする企業が多くありましたが、実際に今期設備投資をした企業は32.7%となり6.2ポイント良化しています。業況判断の予想においては▲30.6ポイントと12.2ポイント悪化する予想にあり、売上予想は14.3ポイント悪化の▲14.3、収益も同2.1ポイント悪化の▲24.5、資金繰りも6.1ポイント悪化の▲10.2と業況改善が見受けられた今期から再び悪化するであろうと予想されています。また、今回調査では前回見受けられなかった人手不足、人材確保といった経営面の課題、重要施策が浮上しています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	材料価格の上昇 69.4	材料価格の上昇 63.3
2	売上停滞・減少 44.9	売上停滞・減少 36.7
3	利幅の縮小 30.6	人手不足 32.7

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

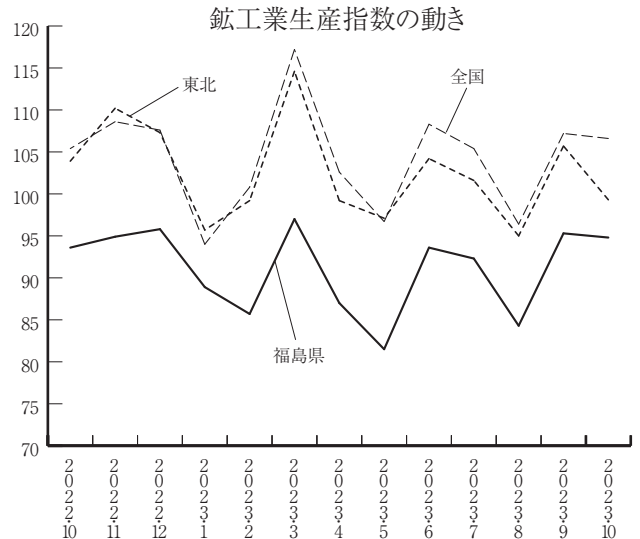
順位	2023年 10月~12月	2024年 1月~3月
1	経費削減 49.0	技術力の強化 42.9
2	技術力の強化 46.9	経費削減 40.8
3	情報力の強化 30.6	人材を確保する 34.7

経 済 指 標

鉱工業生産指数（生産）

平成27年(2015年)=100.0

	福島県	東北	全国
2022年10月	93.6	103.9	105.4
2022年11月	94.9	110.2	108.6
2022年12月	95.8	107.3	107.6
2023年1月	88.9	95.7	94.0
2023年2月	85.7	99.2	100.8
2023年3月	97.0	114.6	117.2
2023年4月	87.0	99.2	102.6
2023年5月	81.5	97.1	96.7
2023年6月	93.6	104.2	108.3
2023年7月	92.3	101.6	105.4
2023年8月	84.3	95.0	96.4
2023年9月	95.3	105.7	107.2
2023年10月	94.8	99.3	106.6

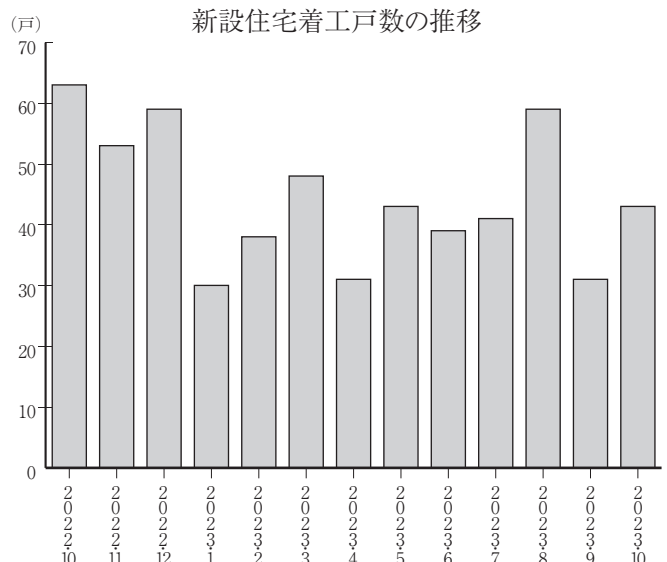


(資料:県統計課産業統計)

安達地方新設住宅着工戸数

(単位:戸)

	二本松市	本宮市	安達郡 (大玉村)	合 計
2022年10月	25	36	2	63
2022年11月	12	38	3	53
2022年12月	35	21	3	59
2023年1月	13	9	8	30
2023年2月	22	11	5	38
2023年3月	27	9	12	48
2023年4月	9	12	10	31
2023年5月	10	15	18	43
2023年6月	12	20	7	39
2023年7月	15	24	2	41
2023年8月	23	32	4	59
2023年9月	14	16	1	31
2023年10月	18	19	6	43

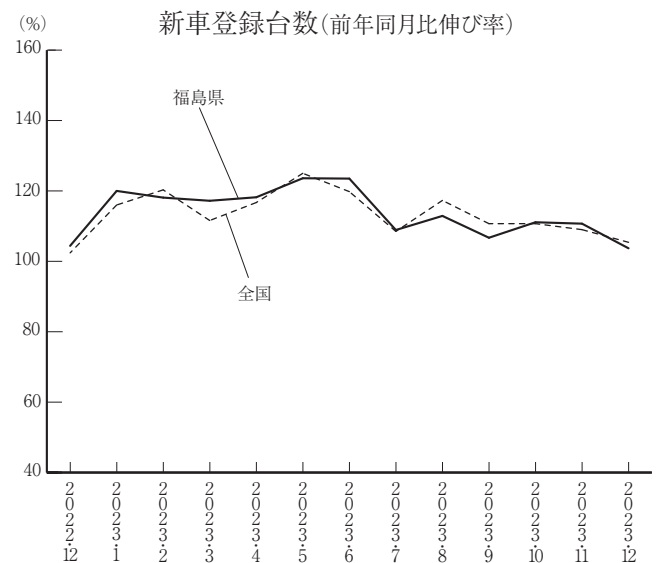


(資料:県土木部建築指導課)

新車登録台数(乗用車・トラック・バス・軽自動車含む)

(単位:台、%)

	福島県		全国	
	台 数	前年比%	台 数	前年比%
2022年12月	4,839	104.4%	344,362	102.4%
2023年1月	5,852	120.0%	382,327	116.0%
2023年2月	6,224	118.1%	426,724	120.3%
2023年3月	9,504	117.2%	572,470	111.6%
2023年4月	5,358	118.2%	349,583	116.7%
2023年5月	5,037	123.6%	326,720	125.0%
2023年6月	6,023	123.5%	392,702	119.8%
2023年7月	5,555	108.9%	379,022	108.5%
2023年8月	5,000	112.9%	340,316	117.3%
2023年9月	6,472	106.7%	437,478	110.7%
2023年10月	6,128	111.1%	397,658	110.7%
2023年11月	6,348	110.7%	411,057	109.0%
2023年12月	5,017	103.7%	362,804	105.4%



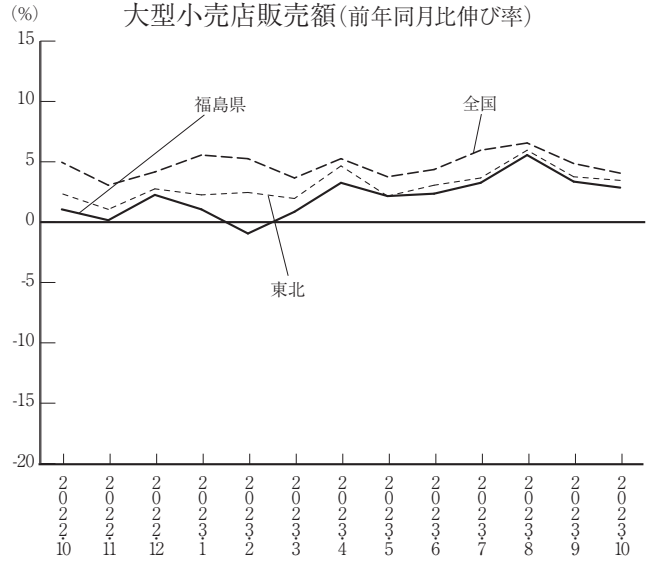
(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会(福島県支部))

福島県大型小売店販売額

(単位:百万円,%) (単位:十億円,%)

	福島県		東北		全国	
	百万円	前年同比	百万円	前年同比	十億円	前年同比
2022年10月	22,950	1.0	109,082	2.3	1,732	4.9
2022年11月	22,322	0.1	107,233	1.0	1,759	3.0
2022年12月	29,019	2.2	137,240	2.7	2,226	4.1
2023年1月	23,745	1.0	111,899	2.2	1,768	5.5
2023年2月	21,160	-1.0	100,151	2.4	1,582	5.2
2023年3月	23,612	0.8	111,209	1.9	1,766	3.6
2023年4月	23,011	3.2	108,865	4.6	1,709	5.2
2023年5月	23,880	2.1	110,826	2.1	1,743	3.7
2023年6月	22,974	2.3	108,449	3.0	1,746	4.3
2023年7月	24,476	3.2	116,484	3.6	1,874	5.9
2023年8月	25,070	5.5	120,248	5.9	1,785	6.5
2023年9月	22,422	3.3	106,777	3.7	1,708	4.8
2023年10月	23,591	2.8	112,802	3.4	1,801	4.0

大型小売店販売額(前年同月比伸び率)



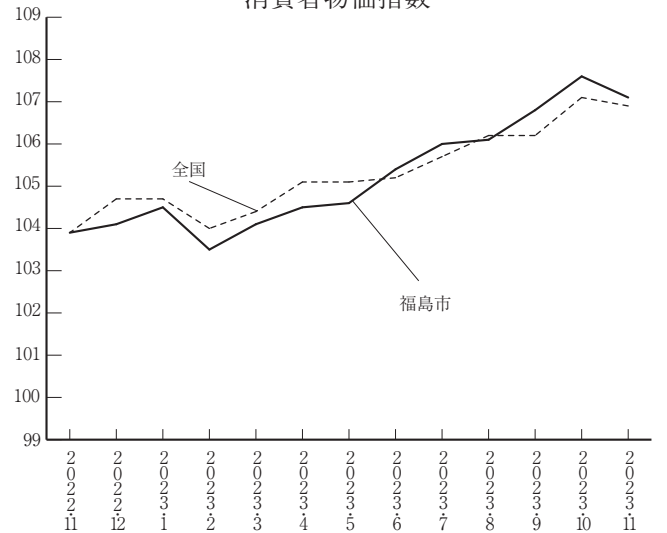
(資料:東北経済産業局)

消費者物価指数

令和2年(2020年)=100

	福島市			全国
	指数	前月比	前年比	指数
2022年11月	103.9	0.2	3.9	103.9
2022年12月	104.1	0.2	4.2	104.7
2023年1月	104.5	0.4	4.3	104.7
2023年2月	103.5	-1.0	3.1	104.0
2023年3月	104.1	0.6	3.0	104.4
2023年4月	104.5	0.4	2.8	105.1
2023年5月	104.6	0.2	2.8	105.1
2023年6月	105.4	0.7	3.5	105.2
2023年7月	106.0	0.6	3.8	105.7
2023年8月	106.1	0.1	3.6	106.2
2023年9月	106.8	0.7	3.7	106.2
2023年10月	107.6	0.7	3.8	107.1
2023年11月	107.1	-0.4	3.2	106.9

消費者物価指数



(資料:総務省統計局)

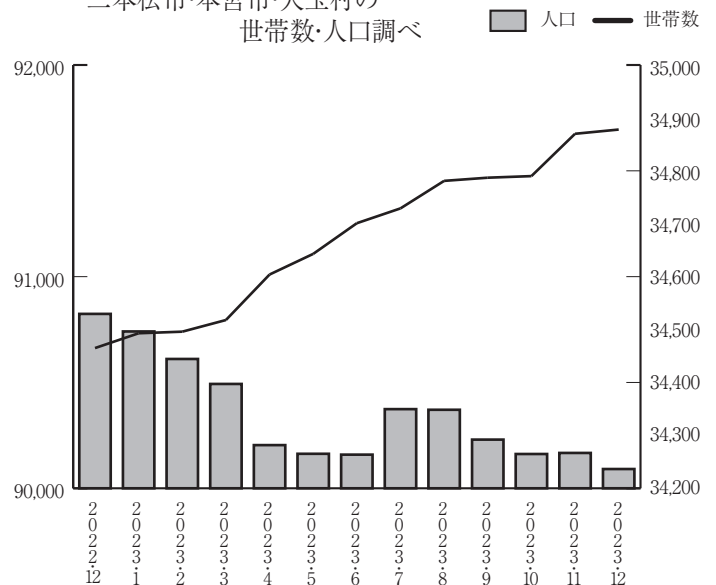
二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ 2023年12月1日現在 (単位:戸,人)

区分	世帯数	人口	男女別内訳		人口増減(対前月)
			男	女	
			二本松市	20,672	
本宮市	11,093	29,920	14,869	15,051	▲ 21
安達郡大玉村	3,113	8,784	4,361	4,423	10
総合計	34,878	90,091	44,698	45,393	▲ 3

(単位:%)

年齢別構成比	年少人口0~14歳	生産年齢人口15~64歳	老年人口	
			65歳以上	75歳以上
二本松市	10.6	54.0	35.4	17.1
本宮市	12.7	58.4	28.8	14.0
大玉村	14.7	57.0	28.3	12.4

二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ



まつしん景況レポート特別調査
「2024年(令和6年)の経営見通し」

問1 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

		製造業	小売・卸売業	サービス業	建設業	全 体
二〇二四年の 日本の景況見通し	1 非常に良い	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.5%
	2 良い	1.7%	3.3%	6.4%	4.1%	3.7%
	3 やや良い	19.0%	6.7%	17.0%	16.3%	14.5%
	4 普通	37.9%	26.7%	40.4%	22.4%	31.8%
	5 やや悪い	34.5%	36.7%	27.7%	34.7%	33.6%
	6 悪い	5.2%	21.7%	6.4%	14.3%	12.1%
	7 非常に悪い	1.7%	3.3%	2.1%	8.2%	3.7%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問2 貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

		製造業	小売・卸売業	サービス業	建設業	全 体
二〇二四年の 自社の業況見通し	1 非常に良い	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	2.8%
	2 良い	1.7%	56.7%	6.4%	4.1%	18.7%
	3 やや良い	19.0%	28.3%	17.0%	16.3%	20.6%
	4 普通	31.0%	1.7%	40.4%	22.4%	22.9%
	5 やや悪い	37.9%	3.3%	27.7%	34.7%	25.2%
	6 悪い	6.9%	0.0%	6.4%	14.3%	6.5%
	7 非常に悪い	3.4%	0.0%	2.1%	8.2%	3.3%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

		製造業	小売・卸売業	サービス業	建設業	全 体
二〇二四年の 自社の売上額の 伸び率の予想 (対前年比)	1 30%以上の増加	3.4%	11.7%	14.9%	0.0%	7.5%
	2 20~29%の増加	3.4%	11.7%	12.8%	0.0%	7.0%
	3 10~19%の増加	15.5%	13.3%	19.1%	10.2%	14.5%
	4 10%未満の増加	17.2%	8.3%	12.8%	10.2%	12.1%
	5 変わらない	27.6%	11.7%	2.1%	22.4%	16.4%
	6 10%未満の減少	20.7%	1.7%	4.3%	16.3%	10.7%
	7 10~19%の減少	6.9%	41.7%	34.0%	12.2%	23.8%
	8 20~29%の減少	1.7%	0.0%	0.0%	16.3%	4.2%
	9 30%以上の減少	3.4%	0.0%	0.0%	12.2%	3.7%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

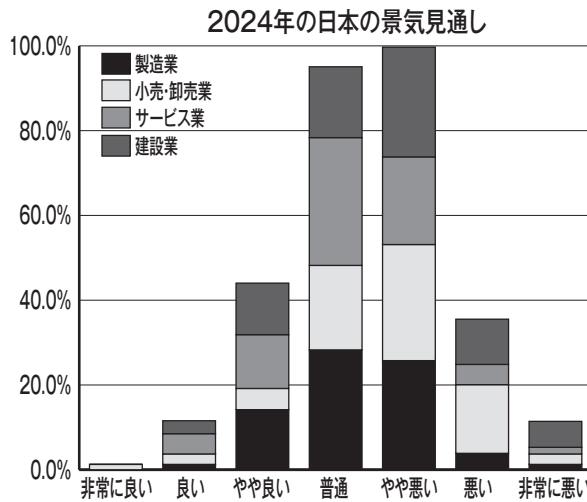
問4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から一つ選んでお答えください。

		製造業	小売・卸売業	サービス業	建設業	全 体
二〇二四年の 自社の業況が 上向く転換点 はいつ頃と予想	1 すでに上向いている	12.1%	10.0%	37.5%	14.3%	15.2%
	2 6か月以内	24.1%	56.7%	16.7%	8.2%	29.3%
	3 1年後	25.9%	28.3%	4.2%	8.2%	19.4%
	4 2年後	10.3%	1.7%	4.2%	14.3%	7.9%
	5 3年後	5.2%	3.3%	12.5%	14.3%	7.9%
	6 3年超	3.4%	0.0%	0.0%	8.2%	3.1%
	7 業況改善の見通しは立たない	19.0%	0.0%	25.0%	32.7%	17.3%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

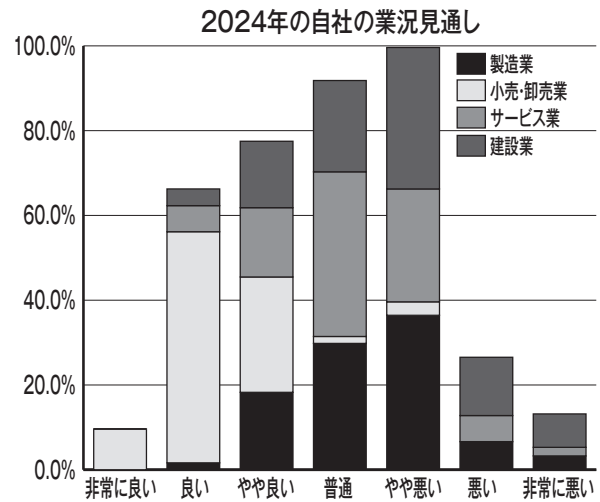
問5 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格については1~5から、仕入価格については6~10から、それぞれもっともあてはまるものを1つずつ選んでお答えください。

		製造業	小売・卸売業	サービス業	建設業	全 体
二〇二四年の 販売・仕入価格の 動向	1 販売価格の大幅な上昇(10%以上)	6.9%	10.0%	4.3%	4.1%	6.5%
	2 販売価格の緩やかな上昇(10%未満)	39.7%	56.7%	48.9%	51.0%	49.1%
	3 販売価格は変わらない(一進一退)	44.8%	28.3%	36.2%	28.6%	34.6%
	4 販売価格は下落	5.2%	1.7%	0.0%	10.2%	4.2%
	5 わからない(自社には関係ないなど)	3.4%	3.3%	10.6%	6.1%	5.6%
	小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	6 仕入れ価格の大幅な上昇(10%以上)	10.3%	20.0%	21.3%	26.5%	19.2%
	7 仕入価格の緩やかな上昇(10%未満)	55.2%	60.0%	59.6%	51.0%	56.5%
	8 仕入価格は変わらない(一進一退)	29.3%	15.0%	10.6%	18.4%	18.7%
	9 仕入価格は下落	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.9%
10 わからない(自社には関係ないなど)	3.4%	3.3%	8.5%	4.1%	4.7%	
小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
合 計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

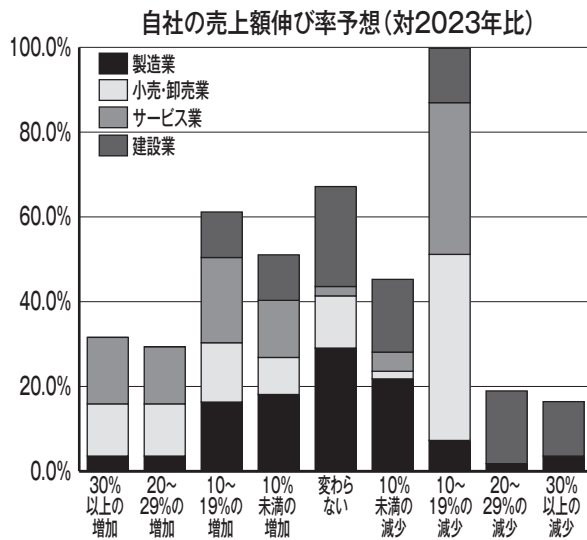
問1. 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



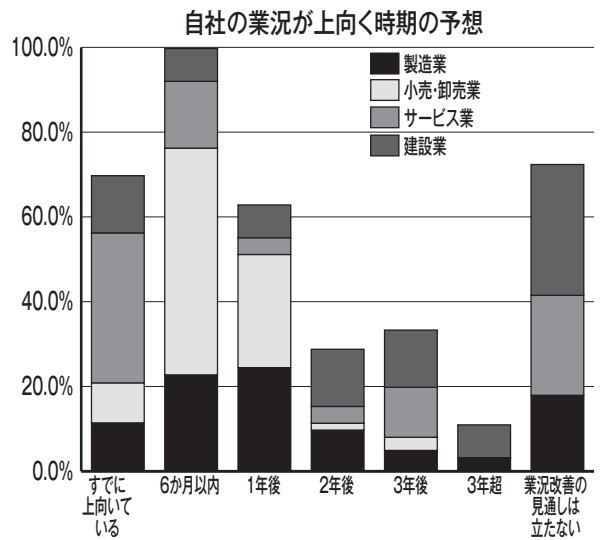
問2. 貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



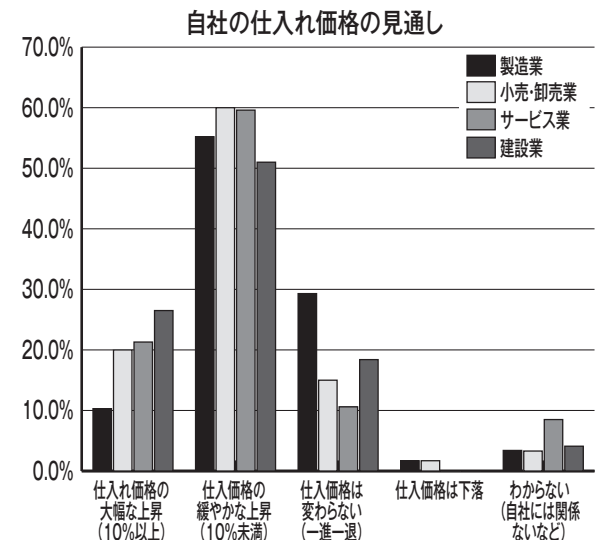
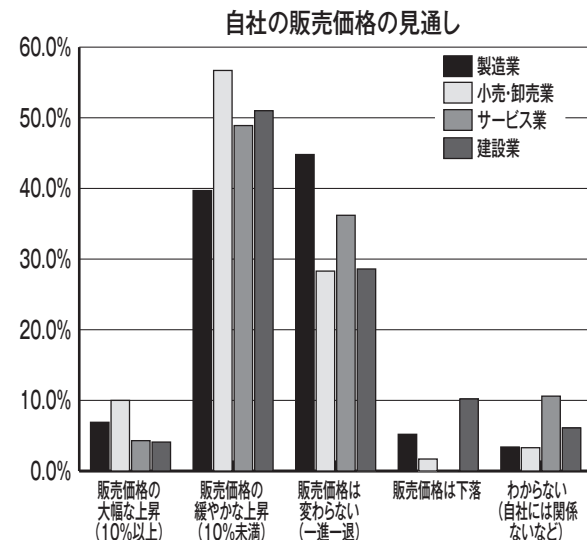
問3. 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から一つ選んでお答えください。



問5. 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格については1~5から、仕入価格については6~0から、それぞれもっともあてはまるものを1つずつ選んでお答えください。



二本松信用金庫 NISA口座を開設しませんか

2024年1月から新しいNISA制度がスタートしました。
運用した利益の税金が**非課税**になる制度です。

NISAのメリット

投資信託を換金した時の利益や投資信託を保有している間に支払いを受けた分配金が非課税になります。

一般口座
・特定口座 税率 **20.315%**

NISA口座 税率 **0%**

2024年1月からNISA制度はより使い勝手のいい制度に生まれ変わりました。
旧 NISA制度と新しいNISA制度の比較 3つのpointは

	旧 NISA制度	新しいNISA制度
Point1 年間非課税投資枠	つみたてNISA 一般NISA 40万円 選択制 120万円	つみたて投資枠 成長投資枠 120万円 併用可 240万 年間最高360万円に拡大
Point2 非課税保有期間	20年間 5年間	非課税保有期間が 無期限に
Point3 非課税保有限度額	800万円 600万円	非課税保有限度額は 全体で1,800万円! (うち成長投資枠は1,200万円)

NISAや投資信託について、まずはお気軽に当金庫各営業店
窓口、融資渉外係へご相談下さい。

二本松市金色久保227番地9 TEL0243-23-3752



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

お問い合わせはお近くのまつしんへ

本店営業部 ☎0243(23)1215

根崎支店 ☎0243(23)0022

本宮支店 ☎0243(33)2159

岩代支店 ☎0243(55)2233

東和支店 ☎0243(46)2104

安達支店 ☎0243(23)3456

金色支店 ☎0243(23)0880

まつしん景況レポート No.153

●発行／二本松信用金庫

〒964-0807 福島県二本松市金色久保227番地9

●発行年月／2024年2月(昭和60年1月 第1号)

●編集／経営企画部 ☎(0243)23-3696

●<http://www.matsushin.jp>